

# 将来像を長期的視点に組織力の強化を図り、 保険者の施策支援に全力で取り組む



鹿児島県国民健康保険団体連合会  
理事長 前田 祝成

新年あけましておめでとうございませ  
す。令和5年の輝かしい新春を迎え、  
謹んでごあいさつ申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より  
国民健康保険事業ならびに介護保険事  
業の円滑な運営にご尽力されていること  
に対し、深く敬意を表しますとともに、  
本会の事業運営に格別のご理解とご協  
力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、『骨太の方針2022』におい  
ては、「成長と分配の好循環」を実現す  
るために、給付と負担のバランスを確保  
しつつ、全世代型社会保障構築の必要  
性や国保財政の健全化の方向性について  
地方団体等との議論を深めること、医  
療費適正化計画のあり方の見直しや都  
道府県のガバナンスの強化など医療保  
険制度の改革について着実な推進を行う  
ことなどの方針が示されております。

また、国と地方のデジタル化の基盤と

なるマイナンバーカードの取得促進が強  
力に進められるとともに、猶予期間を  
設けるものの4月からは、医療機関等  
におけるオンライン資格確認の導入が原  
則義務化され、令和6年秋には健康保  
険証とマイナンバーカードの一体化を  
目指すこととされるなど更なる医療保  
険のデジタル化が進んでまいります。

本会といたしまして、これらの動  
向を踏まえながら、今後の将来像を長  
期的視点により、めざす方向を共有し、  
組織力の強化を図り役職員一体となつ  
て保険者がこれまで以上に効率的で効  
果的な施策を実施・展開することがで  
きるよう、全力で支援してまいります。

また、診療報酬等の審査基準の統一  
化と審査結果の差異解消に向けた取り  
組みを更に推進し、審査支払業務の更  
なる充実・強化に取り組みます。

さらに、各システム等を活用したデー

タの分析や評価から、データヘルス計画  
に基づく効果的な保健事業等医療費適  
正化に資する取り組みの支援及び、テ  
レビ番組等を活用した健康づくり等の  
広報並びに効率化を図るための電算共  
同処理や第三者行為求償事務、介護給  
付費適正化事業等、保険者に共通する  
事務処理等の一元的実施についても充  
実を図ってまいります。

なお、国や県の要請に応え、本会の  
有する審査支払のスキームを活用する  
新型コロナウイルスワクチン接種費用に  
係る請求支払業務、医療機関等に対す  
る物価高騰対策関連事業に係る給付金  
支払業務などの業務につきましても県等  
との連携を図りながら適切に対応して  
まいります。

また、国の進めるデジタル化等への取  
り組みについて、必要な財源が確保さ  
れるよう、国に対し引き続き要望してま  
いります。

結びに、本年も本会への更なるご理  
解、ご協力を心からお願ひ申し上げる  
とともに、皆様方にとって実り多き年  
になりますようご祈念申し上げ、年頭の  
ごあいさついたします。

令和5年元旦

皆様の益々のご健勝とご多幸を  
お祈りいたします。

鹿児島県国民健康保険団体連合会

理事長 枕崎市長 前田 祝成

副理事長 肝付町長 永野 和行

（職務代理者）

湧水町長 池上 滝一

常務理事 学識経験者 久木田 義朗

理事 鹿児島市長 下鶴 隆央

奄美市長 安田 壮平

指宿市長 打越 あかし

曾於市長 五位塚 剛

十島村長 肥後 正司

瀬戸内町長 鎌田 愛人

徳之島町長 高岡 秀規

県医師国保組合理事長

池田 琢哉

監事 南九州市長 塗木 弘幸

大崎町長 東 靖弘

外職員一同

鹿児島県国民健康保  
険診療報酬審査委員  
会

会長 花田 修一

副会長 牟禮 洋

外審査委員一同

堂原 義美

介護医療部会

野村 秀洋

外委員一同

鹿児島県国民健康保  
険診療施設協議会

鈴木 濟

外役員一同

会長

## 謹賀新年

# 健康で長生きできる社会の実現を 目指して



鹿児島県知事 塩田 康一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

各保険者及び鹿児島県国民健康保険  
団体連合会の皆様には、日頃から国民  
健康保険事業及び介護保険事業等の円  
滑な運営に多大な御尽力をいただき、  
深く感謝申し上げます。

また、鹿児島県国民健康保険団体連  
合会におかれましては、新型コロナウイルス  
ルスワクチン接種費用に係る請求支払  
業務に御協力いただき、厚くお礼申し  
上げます。

我が国は、現在、急速な少子高齢  
化の進行等による本格的な人口減少社  
会を迎え、さらに、2025年には、  
1949年までの3年間に出生した「団  
塊の世代」と言われる方々の全てが後  
期高齢者とされる75歳以上となり、国  
民の4人に1人が後期高齢者に当たる  
超高齢社会に突入することが見込まれ

ております。

こうしたことを背景として、被用者  
保険に比べ、年齢構成や医療費の水準  
が高く、小規模保険者が多いなどの構  
造的な問題を抱える国民健康保険制度  
については、持続可能な医療制度を構  
築すること等を趣旨として平成27年5  
月に一部改正された国民健康保険法等  
に基づき、平成30年4月から県が財政  
運営の責任主体となり、中心的な役割  
を担っております。

県としましては、引き続き「県国保  
運営方針」に基づき、市町村と一体と  
なって保険給付の適正化及び国民健康  
保険制度の安定的な財政運営に努める  
とともに、特定健診の受診率向上や生  
活習慣病の重症化予防等に係る県民の  
皆様に対する広報・啓発活動に取り組  
み、疾病・介護予防及び健康づくりを

推進してまいります。

介護保険制度につきましては、引き  
続き、地域共生社会の実現を図ること  
等を趣旨として令和2年6月に一部改  
正された介護保険法等に基づき、地域  
の特性に応じた認知症施策や介護サー  
ビス提供体制の整備、介護人材の確保  
等に取り組みとともに、「県高齢者保健  
福祉計画」に基づき、介護サービスの  
基盤の整備及び質の確保・向上はじめ、  
高齢者の健康づくりや社会参加の促進、  
地域ぐるみで高齢者を支える仕組みづ  
くり等に取り組み、持続可能な同制度  
の実現を図ってまいります。

また、県民の皆様の健康づくりにつき  
ましては、生活習慣病の発症・重症化  
予防や要介護状態の予防、健康格差の  
縮小等を目標に掲げた県の健康増進計  
画である「健康かごしま21」に基づき、  
県民の皆様の健康に対する注意を喚起  
し、食生活の改善や運動の習慣化等を  
呼び掛ける「かごしま健康イエローカー  
ドキャンペーン」や受動喫煙対策等を推  
進しているところです。

この他、健康寿命の延伸及び循環器  
病の年齢調整死亡率の減少を目標とし  
て昨年3月に策定した「県循環器病対  
策推進計画」に基づき、循環器病予防  
に関する県民の皆様の意識の啓発や研  
修会の開催等に取り組んでいるところで

あります。

県としましては、今後とも、健康で  
長生きできる社会の実現を目指し、全  
力を挙げて取り組んでまいりますので、  
鹿児島県国民健康保険団体連合会にお  
かれましては、国民健康保険事業及び  
介護保険事業はじめ、県政各般の施策  
の推進に一層の御理解・御協力を賜り  
ますよう、お願い申し上げます。

結びに、各保険者及び鹿児島県国民  
健康保険団体連合会の御発展と皆様の  
今後ますますの御健勝・御活躍を心よ  
りお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とい  
たします。

令和5年元旦

